

オランダ自転車市況-2010年

1. 全体の販売動向

RAI (オランダ車両工業会)、BOVAG (オランダ自動車自転車商業組合)によると、2010年オランダ市場の新車販売台数は前年比 7.4%減の 119 万台と 3 年続けて減少し、販売金額も前年比 3.4%減の 898 百万ユーロとなったものの、国内生産台数は前年と同じ 120 万台を維持した。

新車と中古車の売上げ比率では、新車比率が 2010 年は 62%に微減、中古車比率が前年より増え 38%となった。これは昨年同様の傾向であり、経済不況のため消費者が新車購入を控え、中古車購入もしくは自分の自転車の修理や補修、更に部品、付属品の購入にあてた事例が多かったとみられる。

しかし、販売金額の減少幅は販売数量のそれより小さかったため、1 台当たり平均単価は上昇する結果となり、2010 年の平均販売価格は、自転車販売業全体で前年比 4.2%増の 757 ユーロ (85,541 円)、自転車小売専門店では同比 6.4%増の 916 ユーロ (103,508 円)と、いずれも上昇した。その要因は高額な電動アシスト車自転車の販売が堅調であったためである。

表 1: 自転車販売及び生産台数 (単位:千台)

年	2006	2007	2008	2009	2010
新車販売台数	1,323	1,400	1,337	1,281	1,186
国内生産台数	968	972	1,129	1,200	1,200

表 2: 新車・中古車別の市場占有率 (単位: 千台)

年	2006	2007	2008	2009	2010
新車	69%	70%	69%	63%	62%
台数	1,323	1,400	1,337	1,281	1,186
中古車	31%	30%	31%	37%	38%
台数	594	600	601	752	727

表 3: 平均販売価格 (単位:ユーロ)

年	2006	2007	2008	2009	2010
平均価格(全体)	582	603	678	726	757
平均価格(自転車小売店)	678	709	782	861	916

2. 業態、価格帯別販売動向

業態別売上比率では、自転車小売専門店はわずかに減じたが、依然として 7 割もの比率を維持している。量販店、スーパーなどは 27%とわずかに増加した。いまだ消費者は品質やサービスを重視して自転車小売専門店の希望する傾向が強く、特に電動アシスト自転車ではその傾向が強くなり、自国ブランド車を選ぶ消費者が多いとみられる。

価格帯別売上比率では、昨年盛り返した 300 ユーロ (33,900 円) 以下の低価格帯が 25%と前年より 4%も再び落ち込んだ。それに次ぐ 301~499 ユーロ (34,013~56,387 円) の価格帯は増加を続けたが、中価格帯 500~699 ユーロ (56,500~78,987 円) は微減となった。2009 年に落ち込んだ中・高価格帯 700~899 ユーロ (79,100~101,587 円) は回復の兆しを見せ、更に最高額の価格帯 900 ユーロ (101,700 円) 以上の比率は昨年より 2%上昇、各価格帯が数年の間に増減する中、過去 5 年間、最高価格帯は比率を増やしていることから電動アシスト自転車の販売好調ぶりが見て取れる。

表 4: 業態別売上台数比率

販売形態	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年
自転車小売専門店	78%	74%	74%	74%	73%
量販店、スーパーなど	22%	26%	26%	26%	27%

表 5: 価格帯別売上台数比率

価格帯(ユーロ)	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年
300以下	30%	31%	27%	29%	25%
301~499	20%	17%	17%	18%	20%
500~699	19%	13%	15%	15%	14%
700~899	20%	25%	25%	19%	20%
900以上	11%	14%	16%	19%	21%

3. 車種別販売動向

車種別売上比率では、一般用自転車は前年よりわずかに増え 2010 年は過半数を維持した。ハイブリッド車は前年より 3%減らし、子供車は微減の一方、電動アシスト自転車の比率は前年より 2%増の 14%と着実に比率を伸ばし、いまや他の車種と拮抗するまでになった。

電動アシスト自転車の 2010 年販売台数は前年比 8%増の 16.6 万台。消費者は量販店の廉価車よりも高品質の自国ブランドを希望する傾向が強いため、国内ブランドの同車種平均販売価格は 2,000 ユーロ (226,000 円) 近くにも及ぶとみられる。国内有力ブランドの中には大よそ 1,300~1,500 ユーロ (146,900~169,500 円) 程と、従来よりも価格帯を下げた戦略的な商品も見られるようになり、電動アシスト自転車でも低価格化の傾向が出始めている。

2011 年見通しについて、一般の自転車に関しては、昨年同様に新車販売は不振となる恐れが強いが、電動アシスト自転車の販売は引き続き堅調であり、また、自転車利用頻度は依然高く、中古車購入や部品、付属品への需要も底堅いとみられ、一般の新車販売の不振を補うことができるものと RAI 担当者は述べている。

表 6: 車種別売上台数比率

車種	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
一般用自転車	59%	60%	50%	49%	50%
ハイブリッド車	15%	10%	17%	16%	13%
マウンテンバイク(MTB)	4%	3%	-	-	-
子供車	15%	17%	14%	13%	14%
電動アシスト自転車	3%	6%	10%	12%	14%
その他 ※	4%	4%	9%	10%	9%

※2008よりMTB/ATB、ロードレーサー及び折りたたみ車を含む

表 7: 電動アシスト自転車販売台数 (単位:台)

年	2006	2007	2008	2009	2010
電動アシスト車販売台数	44,000	89,000	134,000	153,000	166,000



FietsVAK2011で見られた電動アシスト自転車 (左; バタバス、右; トレック)

以上

全ての統計出所: RAI・BOVAG

(デュッセルドルフ事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

